

仕様書

京都市建設局伏見土木みどり事務所
(担当：山手・笹原 075-611-5371)

1 業務名

グレーチング等側溝修繕（久我西出町）

2 業務の目的

一般市道深久我 1 1 号線において、破損したグレーチングの修繕および、ガタついた側溝蓋を現場打補修にて修繕するものである。

3 履行期間

契約締結の日から令和 8 年 10 月 23 日まで

4 履行場所

京都市伏見区久我西出町 地内

5 業務範囲

箇所図及び現状写真

6 業務内容

箇所① グレーチング修繕および側溝上部修繕（現場打ちコンクリート補修）

- ・グレーチング蓋は現状と同様の仕様に復旧すること。
- ・グレーチングは現状と同様のサイズで、T-25 を使用すること。
- ・側溝上部の補修範囲は、43cm×50cm×13cm の側溝蓋 6 枚と 43cm×21cm×13cm の現場打部分および上記箇所周辺のコンクリート部分（別紙参照）であり、すべて撤去し、新たに現場打ちコンクリート補修を行うこと。
※現場打側溝蓋については、別紙構造図を参考に施工すること。
※コンクリート養生期間中も駐車場が利用出来るように敷き鉄板等を設置すること。
※周囲の As 舗装は、現状復旧とし、加熱合材にて対応すること。
As 厚 9cm：再生粗粒度アスコン 5cm、再生密粒度アスコン 4cm
※民地側の Co 土間についても、損傷させた部分は丁寧に復旧すること。

箇所② グレーチング修繕

- ・T-25、並目、ノンスリップタイプ。（グレーチングの詳細は別紙図面参照）
※側壁については、差し筋にて既存のコンクリートと一体化させること。
※周囲の As 舗装は、現状復旧とし、加熱合材にて対応すること。
As 厚 9cm：再生粗粒度アスコン 5cm、再生密粒度アスコン 4cm

※作業に要する寸法計測費、諸経費等の全ての費用は、本業務に含む。

※撤去した発生材は、全て請負者において適切に処分すること。

※事前に建設局伏見土木みどり事務所の監督職員と施工時期、施工範囲及び施工方法について、打ち合わせのうえ、業務にあたるものとする。

※業務完了後、速やかに作業完了報告書を作成し、作業前後の現況写真とともに提出すること。

7 留意事項

- ・ 作業の際は、実施現場内又はその隣接敷地若しくは付近道路の工作物に損傷がないよう十分注意すること。与えた損害については、受注者の責任にて対応すること。
 - ・ 災害を未然に防ぐため、常に火気に細心の注意を払い、後始末等を自らの責任で徹底すること。
 - ・ 作業員には、清潔で安全な服装をさせ、請負者の職員であることを示すものを着用すること。
 - ・ 当該箇所近隣の関係者との間で問題が生じないよう近隣への周知等に留意するとともに、安全の確保に十分留意すること。
 - ・ 本業務は公共性が高いものであり、市民への対応（言葉遣い等）に配慮すること。
 - ・ 作業中、近隣住民からの要望、通行車両等からの苦情、事故の発生等があった場合は、速やかに監督職員に連絡しその指示に従うこと。
 - ・ 原則、平日午前 9 時から午後 5 時の間に作業を行うこと。
 - ・ 作業実施者にかかる安全管理については、受注者の責任において行うこと。
- また、事故等が発生した場合は、受注者の責任で解決すること。

8 支払条件

業務完了後、履行場所（業務範囲）において適切に業務が履行されていることを確認のうえ、本業務に係る経費を支払う。

箇所図

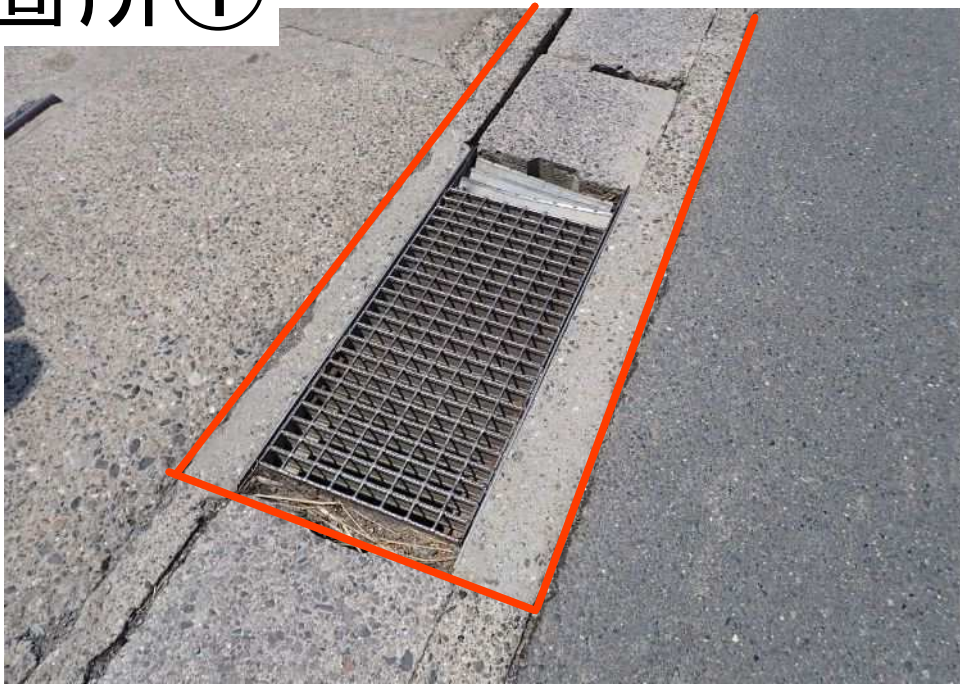
135. 717047, 34. 941173

135. 721177, 34. 941173



● : 業務箇所

箇所①



: 補修範囲

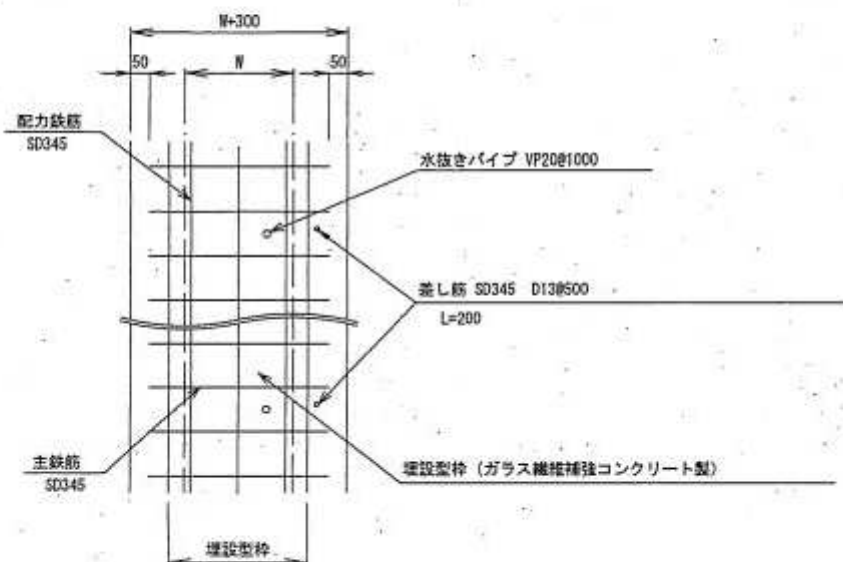
箇所②



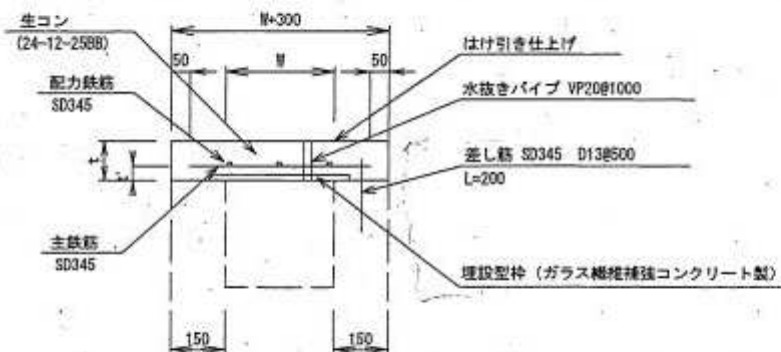
 : 補修範囲



平面図



断面図



横断・縦断用

側溝内幅 W	t	t'	主鉄筋	配力鉄筋	規格	埋設型枠厚(参考)
300	100	40	D13@200 L=500	D13 3本	10t	6mm
400	100	40	D13@200 L=600	D13 3本	10t	8mm
500	100	40	D13@200 L=700	D13 4本	2t	10mm
500	120	40	D13@200 L=700	D13 4本	10t	10mm

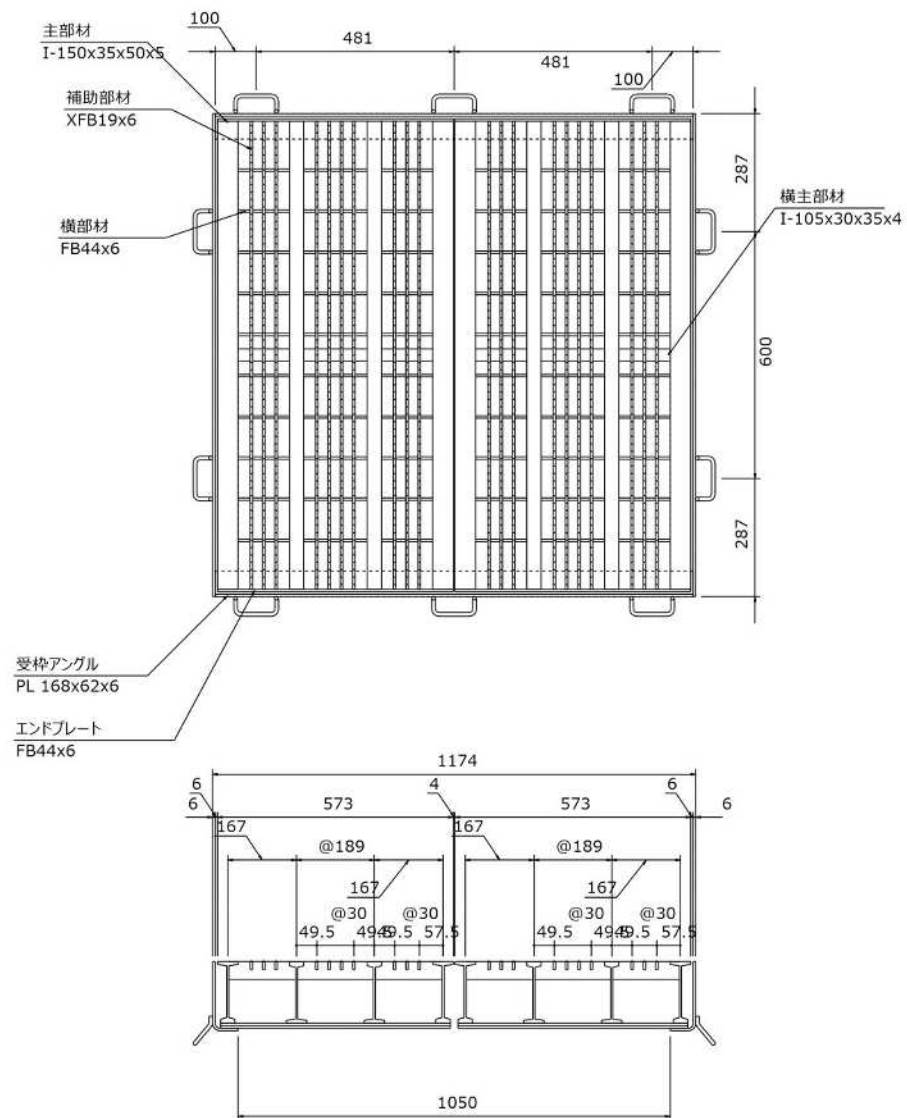
※目地は、おおむね20mに1箇所設置する。

工 種

71 現場打側溝蓋工(内幅W=300)
72 現場打側溝蓋工(内幅W=400)
73 現場打側溝蓋工(内幅W=500) 10t未満
74 現場打側溝蓋工(内幅W=500) 2t未満

縮 尺

S=1/20



記事

1. 型式 IO51R
2. 荷重条件 T-25(平行直角) i = 標準
3. 表面処理 グレーチング : 亜鉛メッキ
受 枠 : 黒ペイント
4. 両端の主部材は中間部と上下逆とする
5. 補助部材間隔 30 mm部分 (標準) の隙間は 24 mmですが、一部幅調整のため隙間が大きくなります。

重 量 218.7kg(本体:167.6kg、受枠:51.1kg)

承認	検 図	担 当	製 図	3 角 法		樹穴 1050 x 1050 用	
				尺 度	1 / 13	落し込み 2 枚割り	
				年 月 日	2026/07/24	4 面アングル受枠	
 株式会社 ダイクレ				工 番		図 番	